4月　　モニターレポート		担当出張所	枚方出張所
担当区間	枚方大橋付近～三川合流点付近（大阪府・京都府境界） （左岸25.8km～34.6km）		
モニター実施日時	令和元年4月25日（土）　17時20分頃～18時頃		
天　　候	晴れ		

（見出し）

今月は、牧野橋付近（穂谷川合流地点）（左岸30.3km）～三川合流点付近（左岸34.6km）の4.3kmについてモニターしました。

利用者のゴミの投棄（1箇所）について報告します。

朝晩はまだ寒いですが昼間は暖かいどころか暑い日が増えてきました。

淀川沿いの景色も、いよいよ春めいてきました。

図：夕焼けの淀川には鴨が泳いでいました

河川敷にたくさん咲いていた紫の花。なんという花なのか気になって調べました。

おそらく弱草藤・ヘアリーベッチという外来種の花だと思います。繁殖力が強いらしく沢山咲いていたのも納得。

図：弱草藤・ヘアリーベッチ

さらに菜の花が咲き乱れていて、この日は風が強かったこともありゆらゆらと揺れる様子はまさに春といった感じでした。

図：咲き誇る菜の花

新名神高速道路の工事現場では、橋脚がもう既にその形を表していて驚きました。どのように建設しているか全く想像もつきません。

図：新名神高速道路の工事

工事現場の吹流しも90°以上になって暴れていたので風速10m以上あったのかもしれません。

図：工事現場の吹流し

ゴミの投棄は一件。傘が捨てられていました。

また、水門近くの注意書き看板の近くにヘルメットが放棄されていました。

4月のレポートは以上です。

（意見・感想・処置等）

　四月のレポートありがとうございます。

　新型コロナウイルス感染拡大防止のため新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が出され、私たちの日常生活にも様々な影響を及ぼしています。

　この様な時期ですのでモニター活動の際は、体調管理等には充分留意してください。

　四月になっても新型コロナウイルス感染拡大のためなにかと気がめいり勝ちですが、季節は確実に移行して淀川沿いの景色もなにかと春めいてきました。

　モニターしていただいた菜の花が咲き乱れている風景は淀川においても春の風物詩なのですが、場合によっては厄介者として扱われる場合もあるとの新聞記事が過去にありました。

　関東地方の河川でも堤防に菜の花のセイヨウアブラナが咲いていることが多いそうです。

　セイヨウアブラナは繁殖力が強く、どんどん繁殖するため土のなかの大きな根が小動物を呼び、モグラの巣などで堤防の表面が穴だらけになってしまうという堤防にとっては心配な面もあるため対策を検討しているとの記事がのっていました。

　幸いに淀川ではそのような事例は報告されていませんが、モグラのトンネルにより堤防の浸食がおこれば大変なことですよね。

　新名神高速道路淀川橋の工事は河川内の工事であるため基本的には出水期間(6.16～10.15)は工事が出来ないこととなっています。

　このような制限のあるなかでの巨大構造物の工事、国家的なプロシェクトですよね。

　それでは五月のレポートをお待ちしております。